

日本の中心で献血を求める

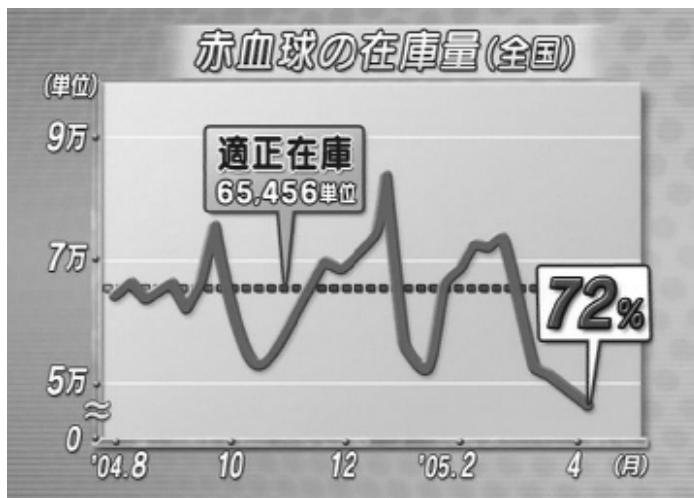
12班 加藤・近藤・松原・古橋・河野・田代

導入

日本赤十字社は、あらゆる手段で呼びかけをしているが、常に血液が足りない状況にある。そこで私たちは、そういった状況がなぜ生まれるのかに疑問を持ち、どうすればそれを変えることができるのか考えることにしました。

現状

実際、どのくらい血液が足りていないのか

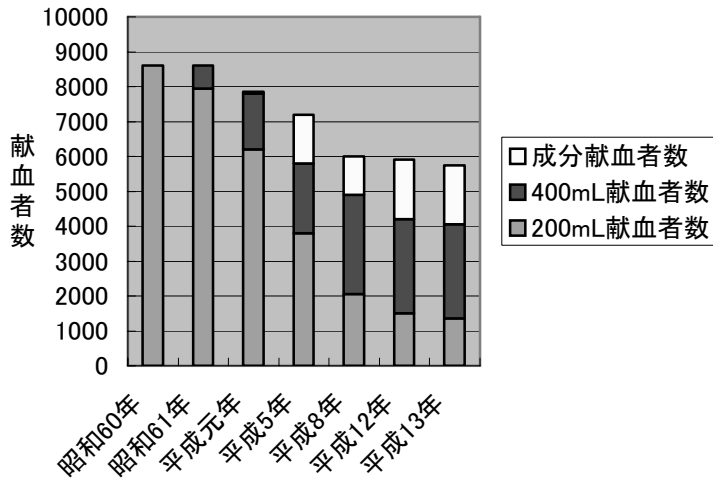


グラフを見ればわかるように血液の在庫は季節ごとに変化する。

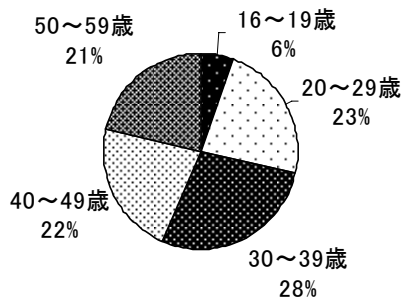
この理由には“血液が長期間保存できない”ということが挙げられ、輸血のための血液を安定して確保するには血液の安定した供給が必要不可欠である！！

献血者数の推移と年齢別割合

献血者数の推移



平成15年度400ml献血者年齢別割合



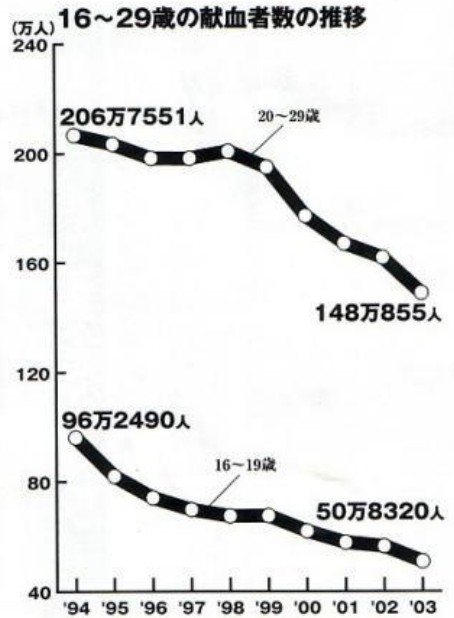
また、献血者が増えない理由にこんなものも挙げられる。

ヤコブ病による献血者の減少

日本赤十字社の調査による献血者減への影響見込み

- (1)地域間に影響の格差がある(全国5.5%減、東京9.8%減程度)。
- (2)赤血球の在庫水準は季節で変動する。
- (3)地域格差・季節変動があっても、全国で平均4%減までであれば在庫水準をかりうじて維持できる。

対策

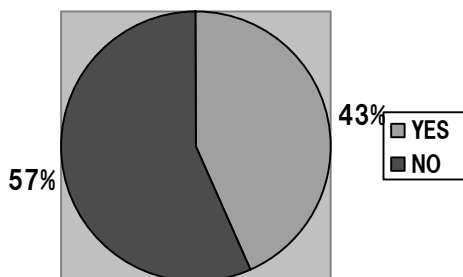


上のグラフによると、ここ数年で若者の献血者が大幅に減っている。そこで私たちは、若者に対する宣伝がいけないのではないかと考え、現在の赤十字の広報に注目しました。

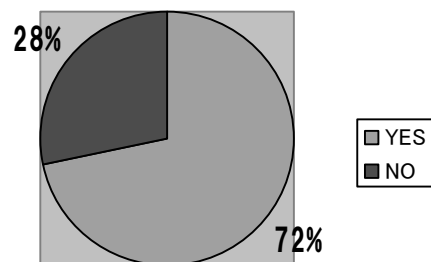
日本赤十字社の宣伝の効果

18～20歳の若者に聞きました

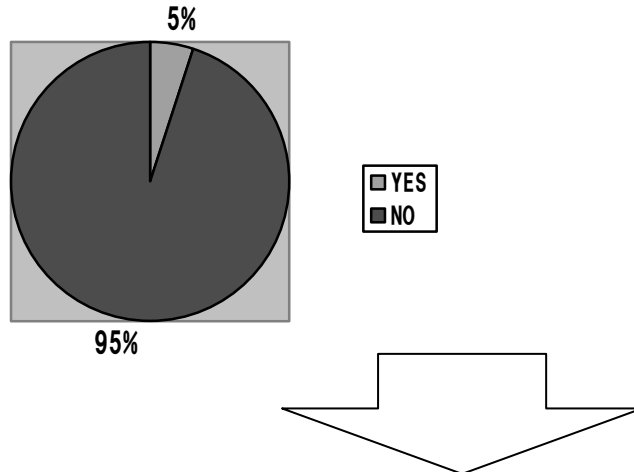
1. 日本赤十字社が製作した献血に関するCMを見たことがありますか？



2. 献血に関するポスター（交通機関の中吊りや公共機関に張ってあるものなど）を見たことがありますか？



3. 1又は2でYESの人で、それを見た
ことがきっかけで献血に行ったことが
ありましたか？



赤十字の広告の効果は薄い！

では、どうすれば効果的に広報を行い、若者に興味・関心を持ってもらえるのか？

提案

映画で宣伝しよう！

<理由>

- ・ 若者が興味を持つ。(セカチューとか)
- ・ 献血に対する認知度が上がる。

参考文献・ウェブサイト

- ・ http://www.nhk.or.jp/hot/onair_old/20050511/20050511a.html (NHK 総合「生活ほっとモーニング」番組 web サイト)
- ・ <http://www.geocities.jp/kenketsutishiki/problems.of.blood.donation.html> (献血の知識を知るためのホームページ)

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/iyaku/kenketsugo/5anzen3.html> (財団法人血液製剤調査機構)